

超小型振動ポリッシャー

BOXY PLUS (S/L)

取扱説明書



本取扱説明書に出てくる重要警告事項の部分は、製品を使用する前に注意深くお読み頂き、十分にご理解の上、ご使用をお願いいたします。

本取扱説明書の画像やイラストはイメージを表現したもので、実機とは異なることがあります。



ON THE ROAD

Dont' demand Just give
2018

はじめに

このたびは、超小型振動ポリッシャーをお買い上げいただきましてありがとうございます。

本機を能率良く、安全にお使いいただくため、ご使用前に本書をよくお読みいただき、操作方法、点検・保守などについて十分ご理解いただいた上で、正しくお取り扱いいただきますよう、お願いいたします。

尚、弊社では「危険」、「警告」、「注意」及び「参考」の各事項について次のような表示を使用しており、それぞれの定義は以下の通りです。

⚠危険：人身事故防止用

遵守しないと人身事故が発生し、場合によっては死亡・重大な後遺症の可能性がある。

⚠警告：人身事故防止用

遵守しないと人身事故が発生し、創傷・火傷の可能性がある。

注意：製品自体の損傷防止用

遵守しないと製品自体に損傷を与える可能性がある。

参考：留意事項

操作・保守において知っておくと得な製品の性能、誤りやすいミスに関する事項

もくじ

1. 安全にお使いいただくために
2. 各部の名称
3. 主な仕様
4. 作業前の準備
5. 作業の開始
6. 作業の終了
7. 日常の点検・保守
8. バッテリーに対する注意事項
9. 故障かなと思ったら
10. アフターサービスについて

＜おことわり＞

性能の向上、改善のため、操作方法や仕様などの記載事項が予告なしに一部変更になることがありますので、予めご了承ください。

1

安全にお使いいただくために

機械の性能を十分に発揮させるために、また安全にご使用いただくために、ご使用の前に下記の事項をよくお読みいただき、十分なご理解と遵守の上でご使用ください。

⚠危険：事故を防ぐために

- 本機は床洗浄機です。その他の用途に使用しないでください。
- 作業に適した服装で行ってください。
- 漏電による感電事故を避けるため、必ずアースを接続してください。
- 本機使用中に異音や異臭、異常振動など、異常な気配を感じた場合は直ぐにスイッチを切り、手を放して、使用を中止してください。
- 改造はしないでください。故障の原因となるばかりか危険です。
- 点検時は必ずバッテリーユニット内のバッテリーを外した状態もしくは、バッテリーユニットからの電源コードの接続カブラを外した状態で行ってください。
- ヘッドを浮かした状態で、ヘッドを5秒以上振動させないでください。
パッドが脱落して飛び出し、非常に危険です。
- 濡れた手や身体で本機の操作や電源への接続を行わないでください。
- 使用電源は直流（DC）36Vの専用バッテリーでご使用ください。
- 本機は屋内仕様です。雨水に濡れないようにしてください。
- 本機のヘッドやハンドル部に水や油などが掛からないようにしてください。
掛かってしまった場合には、乾いた布などでよく拭き十分に乾燥させてください。
- 電源コードの延長は行わないでください。
- 本機のデッキやパッド部分は高速で振動しますので、振動中に手や足が触れないように注意してください。
- 本機をガソリン、白灯油、シンナー等引火の恐れのある物質のそばでは使用しないでください。
- 本機をドライで使用する際に粉塵爆発を起こす粉塵を発生させる可能性があります。
ドライ使用時には作業場の換気を十分に行ってください。
- 運転中にパッドがバッテリーコードを巻き込むことはありませんが、安全のためバッテリーコードを振動するパッドに近づけないでください。
- 電気コードの接続カブラをカブラ同士接続する時は、全てのスイッチが切れていることを確認してからカブラ同士の接続を行ってください。

⚠警告：健康への影響を避けるために

- 本機をアスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被爆した恐れのある環境等での使用もしくは保管はしないでください。
- 本機をドライで使用する際に発生する粉塵を吸い込まないように注意してください。

注意：機械の故障を防ぐために

- 本機は専用のリチウム電池 DC36V 仕様です。正しい電源でご使用ください。
- 必ず水平な場所でご使用ください。
- 本機のヘッドを布やビニールなどで覆わないでください。冷却不足となりモーターの故障の原因になります。
- バッテリーコードを引っ張ったり、踏んだり、折り曲げたりしないでください。
- バッテリーコードをカプラ部分で外す時は必ずカプラを手で持って引き抜いてください。バッテリーコードを引っ張るとカプラ内で断線する恐れがあります。

注意：パッドに関して

- 洗浄効率を最大に引き出すために、床面の状態に合ったパッドを使用してください。
- パッドは消耗品です。
パッドは目詰まりした状態ではその洗浄効果が発揮されませんので、毎使用后、必ず洗浄してください。
- 消耗したパッドを使用すると床面を傷付け、機械を故障させる可能性があります。

注意：その他に関して

[洗剤についての注意]

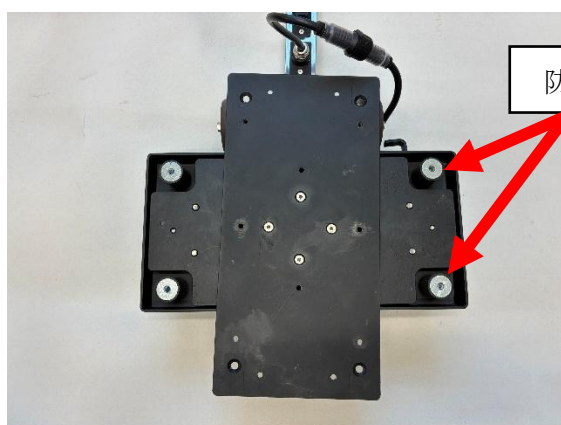
- 洗剤は、洗剤容器に記載されている使用方法に従ってご使用ください。
- 剥離剤は使用できますが、ベアリング及びゴムブッシング等の消耗を早める可能性があります。
- 強酸性の洗剤は使用しないでください。発錆や故障の原因となります。

[保管に関する注意]

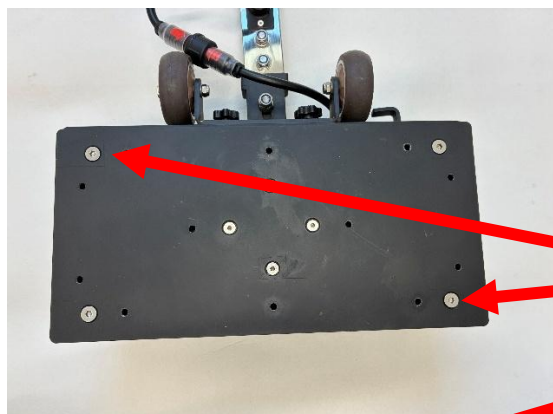
- 本機の保管は屋内の直射日光の当たらない、換気が十分な場所を選んでください。
- バッテリーユニットからバッテリーを外した（抜いた）状態にしてください。
- 保管は水平な場所で行ってください。
- 床面に直接パッド台のパッド取付面（デッキ）を当てて保管しないでください。
パッド取付面（デッキ）の爪が破損し、パッド保持ができなくなります。

[その他の注意]

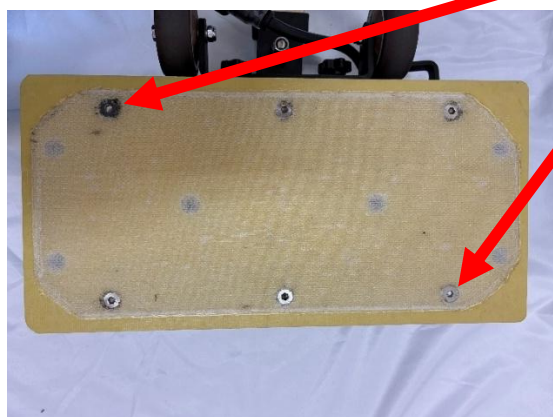
- 本機を水洗いしないでください。
汚れが目立つ場合は水拭きしてください。
- 防振ゴム（ゴムブッシング）は消耗品です。可動させる前に取り付けネジの緩み及びゴムに亀裂・摩耗・劣化等がないか点検を行ってから使用してください。
- パッド台取付け用ネジの緩みがないか確認を行ってください。また、各部ネジの緩みがないか確認し緩みがありましたら増し締めを行ってください。



防振ゴム



パッド台取付け用ネジ
(六角穴付皿ボルト)

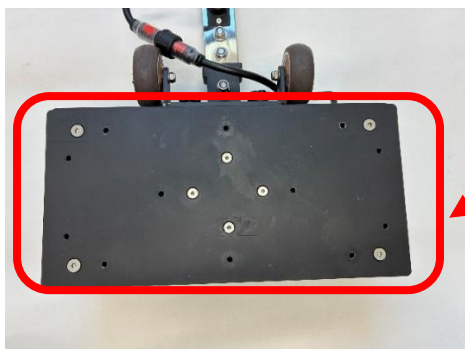


2

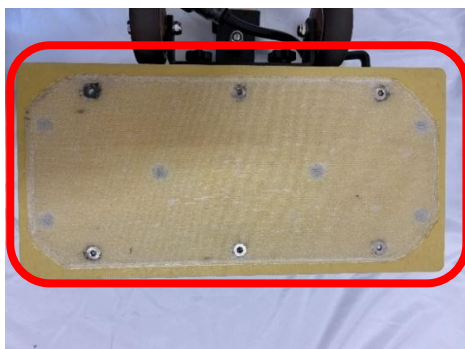
各部の名称

■ 2-1 本機の全景

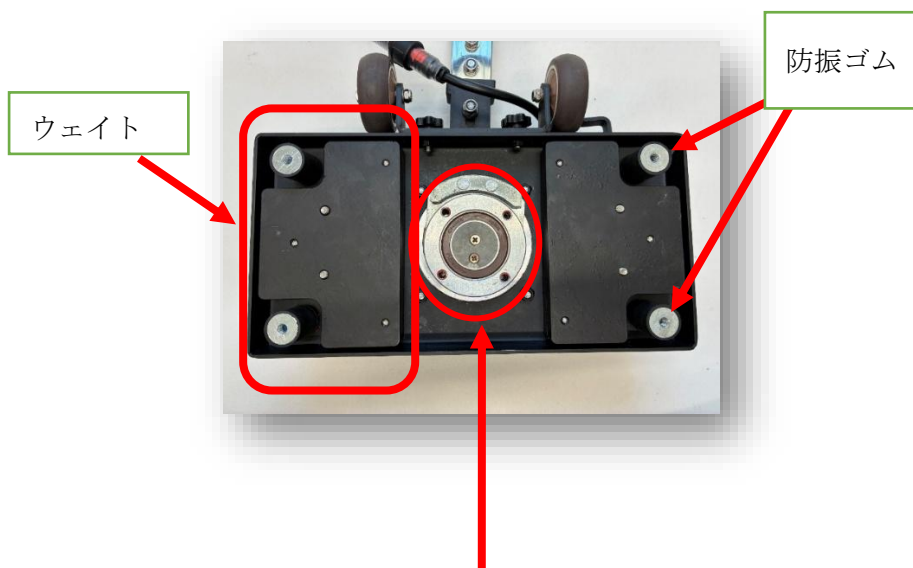




スチールプレート



ベルクロ付強化プラスチックプレート



ウェイト

防振ゴム

「ベアリングユニット」

偏芯偏重回転板・偏芯軸座金・シール付ベアリング取付プーリー・ベアリング・スペーサー・パッド台取付プーリー



3

主な仕様

■ 3－1 主な仕様

備考：性能向上、改善のため下記仕様を予告なく変更することがありますので、
あらかじめご了承ください。

型式	BOXY PLUS (S)	BOXY PLUS (L)
タイプ	バッテリータイプ	バッテリータイプ
電圧	DC36V	DC36V
出力	160W	250W
消費電流値(無負荷時)	5.0A	7.0A
サーキットブレーカー	10A	10A
回転数	3000rpm	3000rpm
作動時間 (4Ah バッテリー)	約 50 分	約 35 分
充電時間 (4Ah バッテリー)	45 分	45 分
本体サイズ	250×130	330×165
重量・ハンドル含む	13kg	17kg
パッドサイズ	260×140	350×185

4

作業前の準備

■ 4－1 移動・保管



(図 1)

パッド

1. 本機を移動・保管させる際にはパッド取付面（デッキ）にパッド取り付けてください。（図 1）
パッドを取り付けずに保管されますと、パッド取付面（デッキ）マジックテープの目が寝てしまいます。

△危険：マジックテープの目が寝た状態で本機を使用されますと、パッドの脱落やずれの原因になります。

■ 4－2 パッドの取り付け



(図 2)

1. バッテリーコードを繋がない状態で作業を行ってください。（図 2）

△危険：パッド取り付け時に不意に稼働すると非常に危険ですので、必ず電源コードを外してください。

2. 使用するパッドを床面に置き、パッドの上に本機のヘッドが中心になるように載せます。（図 3）
3. 本機ヘッドを持ち上げる時は本体のアームを持って持ち上げて下さい。



(図 03)

■ 4-3 電源コード及びバッテリーコードカプラの接続



「カプラ接続口」(図 4)

1. 「カプラ接続口」には切り欠けがありますのでそれに沿って差し込んでください。(図 4)
2. 本体側、ハンドル側にカプラコードがありますのでそれぞれ差し込んでください。(図 5.6)



「ハンドル側バッテリーコードカプラ」
(図 5)



「本体側電源コードカプラ」(図 6)

■ 4-4 バッテリーユニット

バッテリーコードカプラ



バッテリーユニット



<バッテリーユニット内部>

- ① バッテリー装着カセット
- ② 専用バッテリー
DC36V・リチウム電池

■ 4-5 バッテリーの取付け方

- ① バッテリーコードカプラの接続を外します。
- ② バッテリーユニットからバッテリー装着カセットを取り出します。



バッテリー装着カセット

- ③ カセットの溝及び刃に合わせてバッテリーを差し込みます。
バッテリーの向きに注意してください。



刃

溝



灰色の爪

- ④ バッテリーの灰色の爪の部分がカセットで隠れるまで奥に挿入します。
灰色の爪が内部で引っ掛かり抜け防止のロックが掛かります。



■ 4-6 バッテリーの取り外し方



- ① バッテリーコードカプラーの接続を外します。
- ② バッテリーユニットのふたを開けバッテリーと一体となったバッテリー装着カセットを引き出します。



- ③ バッテリーの灰色の部分を押えて、バッテリー装着カセットからバッテリーを引き抜きます。



5

作業の開始

注意：本機を移動させずに静止したまま長時間パッドをその場で振動させると床面を傷つけることがあります。十分にご注意ください。

■ 5-1 洗浄作業

注意：本機のパッド部分は高速で振動し非常に洗浄力が高いので、パッドの選定を誤ると床材を傷つける可能性があります。適切なパッドを選定するとともに、目立たない場所で確認してから作業を開始してください。

サーキットブレーカー

本体側スイッチ



(図 7)

ハンドル固定解除板



(図 08)

手元側スイッチ



「手元側スイッチ」(図 9)

1. 洗浄を開始する前に床面のゴミなどを取り除いてください。
2. 必要に応じて適正洗剤をあらかじめ塗布してください。

△危険：ドライで使用する際に粉塵が飛散します。粉塵爆発や粉塵を吸い込まないように十分注意してください。

3. ハンドルをしっかりと握り、ハンドル固定解除板をおさえこみ、ハンドルの固定を解除します (図 08 参照)

4. ハンドル上部の「手元側スイッチ」(図 9) を「I」側に入れるとパッドが振動します。

△危険：ヘッドを浮かした状態で、パッドを 5 秒以上振動させないでください。パッドが脱落して飛び出し、非常に危険です。

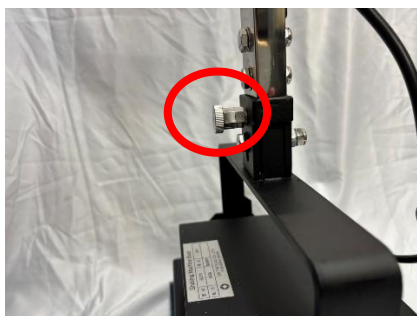
5. 床材の種類やパッドの種類によって抵抗が大きくなるため、保護機能が働き使用中に機械が止まる場合があります。止まってしまった際には、本機を使用せず冷却時間を取ってください。

※本体側下部にサーキットブレーカーの復旧ボタンがあります。作動するとボタンが飛び出します。

ボタンを押込むと復旧します。それでも飛び出てくる場合は冷却時間をおいて再度ボタンを押込んでください。(図 7)

「ハイブリットアダプター」

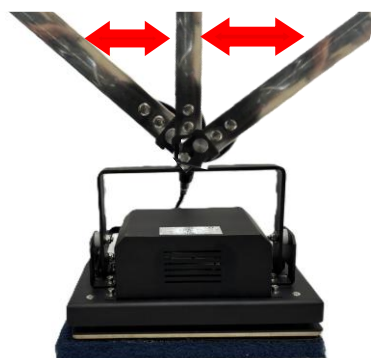
ハンドル下部のツマミ部分を手前に引き（図 10.11）、ハンドルを少し持ち上げるとハンドルが左右に稼働し、ハンドルの自由度が高まります。（図 12）



「ハイブリットアダプター」(図 10)



「ハイブリットアダプター」(図 11)



「ハイブリットハンドル」(図 12)



ハイブリットハンドル使用例

6

作業の終了

■6-1 作業終了



「手元側スイッチ」(図 13)



(図 14)



「電源コードカプラ」(図 15)

1. 「手元側スイッチ」を「O」側にしてください。(図 13)
 2. 解除板をおさえこみ、ハンドルを開始時の位置に戻して使用後はハンドルをしっかりと握り、ハンドルを固定して下さい。(図 14)
 3. バッテリーコードとハンドル側コードとの接続カプラを外します。
 4. バッテリーユニットからバッテリーを取り外します。
 5. ヘッドとハンドルを繋ぐ「電源コードカプラ」を外します。(図 15)
 6. ヘッドからパッドを取り外します。
 7. 使用したパッドは水洗いして汚れやゴミを取り除き、乾燥させて次回に備えます。
 8. 外したバッテリーを専用充電器で充電します。
- ※ 充電方法については「充電器用取扱説明書」に従って充電してください。

7

日常の点検・保守

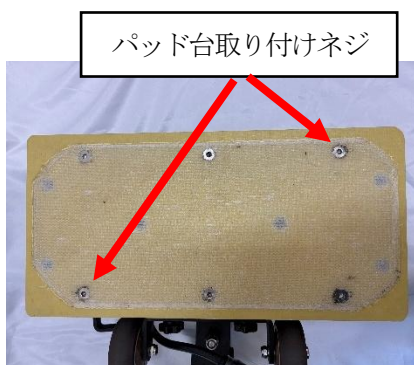
注意：点検・保守を行う場合は、バッテリーユニット内のバッテリーを外した状態で行ってください。

■ 7-1 日常の点検



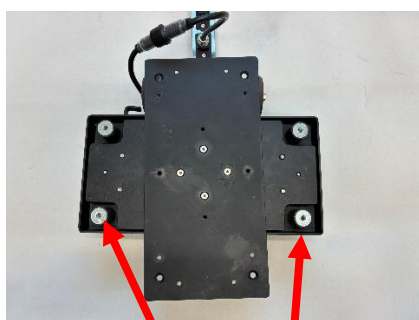
【バッテリーコードの確認】

コードに潰れや切れなどの損傷がないか点検してください。併せて、接続コプラにも損傷がないか点検を行ってください。



【パッド台の点検】

1. パッド台のパッド取付面はパッドとの干渉によって摩耗する消耗品です。摩耗するとパッドの保持力が落ち、作業中にパッドが外れる恐れがありますので、使用前に必ず点検を行ってください。
2. 使用前にパッド台取付用のネジの緩みや飛び出し等がないかの点検を必ず行ってください。



【消耗部品の交換】

本機は通常の回転式ポリッシャーよりも駆動部品に負荷が掛かりますので、パッド四隅の防振ゴムが摩耗します。防振ゴムに亀裂や摩耗が生じた時は交換をお願いします。

注意：使用状況に応じて消耗・劣化・亀裂の度合いは変わります。異常な振動や作動音など、異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を実施してください。振動部が消耗・劣化したまま使用を続けると、思わぬ事故やモーターの故障を引き起こす可能性があります。

- バッテリーの使用とお手入れ
 1. バッテリーはメーカー指定の充電器でのみ充電してください。特定タイプのバッテリーに適した充電器は、別のバッテリーと一緒に使用すると発火する危険があります。
 2. 本機は、指定されたバッテリーのみを使用してください。他のバッテリーを使用すると、けがや火災の危険があります。
 3. バッテリーを使用していないときは、クリップ、コイン、鍵、ネジ、又は端末間の接続に使用する金属製の部品から離して保管してください。バッテリー端子の短絡(ショート)は、火傷や火災の原因となることがあります。
 4. バッテリーユニット内に前記の金属類が入っていないか使用前に必ず確認してください。
 5. 過酷な使用条件下では、液体がバッテリーから漏れることがあります。これとの接触を避けてください。誤って触ってしまった場合には、水で洗い流してください。液体が目接触到してしまった場合には、早急に医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は刺激や火傷の原因となることがあります。
- バッテリー安全性についての規則：
 1. 誤って電源を入れることがないようにしてください。バッテリーを挿入する前に ON/OFF スイッチが OFF の位置「O」にあることを確認してください。スイッチが ON になっている状態でバッテリーユニットのカセットにバッテリーを挿入したりすると事故につながる恐れがあります。
 2. スイッチが ON の状態でバッテリーユニットのカセットからバッテリーを引き抜くと発火や火傷の原因となりますので絶対にしないでください。
 3. バッテリーを開けないでください。短絡(ショート)の危険性があります。
 4. 連続的に太陽光にさらされる状況や火災、熱などからバッテリーを保護するようにしてください。爆発の恐れがあります。
 5. 専用の充電器でのみ充電するようにしてください。他のタイプの充電器を使用すると火災の原因となることがあります。
 6. バッテリーをつぶしたり、落としたり、傷つけたりしないでください。落として急激な衝撃を受けたバッテリーや充電器は使用しないでください。損傷したバッテリーは爆発の危険があります。落下・破損・変形したバッテリーはすぐに適切に処分してください。
 7. 湿気の多い、または濡れた場所でバッテリーを充電しないでください。
 8. 車内にバッテリーを放置しないでください。車内が高温となりバッテリーが膨張し最悪の場合は爆発の恐れがあります。
- 警告

本機で指定されているバッテリーのみを使用してください。
他のバッテリーを使用すると、けがの原因となり、火災の危険も介在します。
- 注意

本機に適していないバッテリーを使用すると、誤動作や損傷の原因になることがあります。
- バッテリーの充電：
 1. 屋内で充電してください。
 2. バッテリーに適合した専用の充電器で充電してください。
 3. バッテリーは部分的に充電された状態での提供です。本機を使い始める前にバッテリー充電器でバッテリーを完全に充電してください。
 4. バッテリーは、5℃～40℃の環境下でのみ充電することができます。

バッテリー及びバッテリー充電器は別添の各『取扱説明書』に従って使用してください。

本機に異常が見られた時は、次の点をお調べください。それでも異常がある場合にはお問い合わせの販売店、もしくは弊社カスタマーサービス（0120-013-620）までご相談ください。

■8-1 こんなときは

こんなときは	考えられる原因	その対策
スイッチを入れても作動しない	バッテリーユニットにバッテリーが装着されていない	バッテリーを装着する
	バッテリーの容量が不足している	充電されているバッテリーと交換する
	電源コードカプラが正しく接続されていない	カプラの接続をやり直す
	本体側スイッチが入っていない	本体スイッチを押す（図 07 参照）
	サーキットブレーカーが上がっていないか	サーキットブレーカーを押し込む（図 07 参照）
	スイッチの故障	点検・修理をご用命ください
	バッテリーコードの断線	
	ハンドル内での断線	
	モーターの故障	
使用中に止まってしまった	床面とパッドの抵抗が高すぎる	機械を冷却する時間をおき、使用するパッドを見直す
	バッテリーコードカプラの接続不良	カプラの接続をやり直す。ネジ部を締め込む
	バッテリーの容量が減少した	予備バッテリーとの交換
	サーキットブレーカーの作動	機械を冷却する時間をおき、サーキットブレーカー（図 07 参照）押してリセットする
	スイッチの故障	点検・修理をご用命ください
	電源コードの断線	
	ハンドル内での断線	
	モーターの故障	
	サーキットブレーカーの故障	

使用中に異常な振動や音や臭いを感じたら、使用を中止し弊社に点検・修理をご用命ください。

本機のアフターサービスは以下のように実施させていただきます。

1. 本書には保証書を添付してあります。大切に保管してください。
2. 保証期間は納入日より1年間です。
3. 保証書の記載内容により弊社が修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。
4. 保証書期間経過後の修理及びご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店または最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

なお、アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがあるため、修理はお受けできません。

保証書

型 式 名	
機 械 番 号	
納 入 日	令和 年 月 日
保 証 期 間	1 年
ご 社 名	
所 属 部 署	
フ リ ガ ナ ご 担 当 者 名	様
ご 住 所	〒 Tel ()
販 売 店 名	
販売店の住所	〒 Tel ()

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

上記保証期間内に取扱説明書、本体ラベルなどに従って正しく使用していて故障した場合にはお買い上げ販売店または弊社が無料修理いたします。

記

1. 納入日から起算して満1年以内に製造上に起因する故障が生じた場合は無料で修理いたします。但しアスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被爆した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害す恐れがあるため、修理はお受けできません。また、保証期間内でも次のような場合には有料修理させていただきます。
 - ① 使用上の誤り、弊社指定の販売店またはサービス店以外での改造や不適当な修理による故障または損傷。
 - ② 移動、輸送などによる故障または損傷。
 - ③ 火災、地震、水害、落雷、凍結、その他の天災地変や異常水圧、異常水質、異常電圧などの外的要因、周波数違い、オイル交換、フィルター交換などの使用および保守管理の問題による故障または損傷。
 - ④ 消耗品の消耗。
 - ⑤ 本書の提示がない場合。
2. ご転居される場合には事前にお買い上げ販売店もしくは直接当社にご通知ください。
3. 本保証は日本国内でご使用の場合に限り適用されます。
4. 本証は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

株式会社 オンザロード

本社／福岡県福岡市早良区田村4丁目3-24

電話／092-407-3725

カスタマサービス／0120-013-620 (平日 10:00～16:00)

URL ; <https://on-the-road.co.jp>